



コロンボ日本人学校 学校便り

アーユ・ボーワン

平成24年6月15日 発行 No.3

失敗を恐れずチャレンジする子 世界一楽しい学校

「国際貢献」・「国際社会で活躍できる子」

校長 黒澤 秀美

去る5月29日、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処任務に向かう海上自衛隊護衛艦がコ



ロンボ港に寄港するに当たり、護衛艦の艦内見学と出港見送りに全校児童生徒で行ってきました。説明の後、1時間ほど艦内の見学をし全員で見送りました。見送りは日本国大使やスリランカ日本人会の方々とともに、必ずしも盛大というほどでもなかったですが、スリランカ海軍の軍楽隊が演奏を奏でる中「さわぎり」に続いて「いかづち」が静かに岸壁を離れて行きました。

6年生の女子の一人が「先生、ケイレイしますか?」と言う。

「うん、まあまあ・・・」と言いつつも、何かとても熱いものを感じました。

日本国内に住んでいたときは、紅海、アデン湾、ジブチ、海賊などという言葉聞いてもピンときませんでした。こうして海上自衛隊護衛艦（海上保安庁の職員も同行）による海賊対処部隊が、2009年以降12次にわたって行われているということ、日本が中東地域の海の安全に大きく国際貢献している事実を身近で知り、改めて航行の安全と世界の平和・安定を願わずにはられません。

本校の教育目標のひとつに「国際社会で活躍できる子」を掲げていますが、どんな形であれ、いずれ、この国際社会の中で活躍し貢献できる、そんな子供たちになってほしいと願っています。

